コラム
COLUMN

ガンバル 我ら 地域おこし協力隊 No.39

大都市圏から地方へ人の流れを作り、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指すプログラム「地域おこし協力隊」。彼らの日々の活動を紹介します。
【問】市観光課観光地域づくり係（☎77・8176）

いざ出陣！ 観光ブドウ農園「むつごろうファーム」

直径３センチメートルほどの大きさに成長した観光ブドウ農園の巨峰

毎日、ブドウのつるの手入れ

ブドウの花の後にできた５ミリメートルほどの小さい芽

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の長谷川太郎です。私は観光課で「船頭技術の習得」をはじめ、柳川観光に関わるさまざまな仕事をしています。

７月の終わりごろ、私は大きな不安を抱えていました。「観光ブドウ園に、お客様は来てくれるだろうか」「ブドウをおいしいと言ってもらえるだろうか」と…

柳川に来て半年が過ぎました。４月に赴任して間もなく、船頭練習に加えて始まったのが、観光ブドウ農園の開園に向けた巨峰栽培です。柳川むつごろう会ブドウ部会の猿渡昭光部会長と、柳川むつごろう会が借りあげたブドウ園の貸主である宮川一男さんの丁寧な指導の下、巨峰栽培が始まりました。

４月時点で、５ミリメートルほどの小さな芽でしかなかったものが、梅雨入り前にはしっかりとブドウらしい房の形を作り、果実は大豆ほどの大きさにまで成長しました。日々ブドウ園へ足を運び、ブドウの成長を見ると、農業という仕事にとてもやりがいを感じました。決して楽しいことばかりではなく、ブドウ棚で姿勢を低くしてずっと上を向いたままの作業は、体に大きな負担でした。しかし、日に日に成長していくブドウの姿を見ていると、疲れが吹き飛び、やる気が沸いてくるのでした。

７月の柳川ひまわり園開園と合わせて、８月10日のブドウ園開園に向けて準備を進めました。その中で、「ケーキのカトウ」様のご協力により、規格外になった商品にできないブドウを使って「ブドウジェラート」を作ることもできました。

そして、観光ブドウ農園「むつごろうファーム」開園の日。私が以前抱いてた不安は、すっかりなくなりました。開園直後から園内がお客様でいっぱいになるほど来園いただきました。「すごく甘い」「来年以降もずっと続けてくださいね」などお客様からうれしい言葉を掛けていただきました。「ブドウジェラート」も大好評。来年はさらにパワーアップし、もっと多くの人に両開のおいしいブドウを届けられるよう頑張っていきます。

長谷川 太郎（24歳）

【プロフィル】京都府京都市出身。高校・大学と農学を専攻。歴史に興味があり、日本城郭検定３級資格を持つ。立花宗茂の大ファン。平成29年４月から観光課に所属

参加者など多くの人が仮装して柳川めぐり
柳川ハロウィーンで市内が大にぎわい

❶仮装した児童らが水上パレード❷ハリウッドワールド美容専門学校生による無料メイク❸15の露店がずらりと立ち並んだ柳川駅前バンコまーけっと❹仮装した人たちで柳川駅前西口広場は大にぎわい

市内小学校育友会やPTA、ハリウッドワールド美容専門学校、市観光振興プロジェクトチーム、市でつくられた駅前バンコマ実行委員会は、「愛嬌挨拶（あいきょうあいさつ）柳川めぐり」の初日となる10月14日、西鉄柳川駅東西駅前広場を中心に「柳川ハロウィーン」を開催しました。このイベントは、同広場を中心に、にぎわいや交流の場を作ろうと行われたもの。同実行委員会の関係者など多くの人が楽しみました。

同イベントに参加した藤吉小や柳河小、城内小の児童ら約１１０人は、ハロウィーンや人気アニメのキャラクターに仮装。大きなカボチャを使ってのランタン製作やどんこ舟での水上パレード、西鉄柳川駅前でのゲームなどを楽しみました。

また同駅西口駅前広場では、九州北部豪雨チャリティイベント「柳川駅前バンコまーけっと」も実施。ハリウッドワールド美容専門学校による無料メイクサービスやダンス、宗茂君の登場で、同広場は、市民や観光客で大いににぎわいました。

バスの乗り方教室で乗車体験

東口駅前広場では、堀川バスと市が、バスの乗り方教室を実施。児童が、乗車の仕方や料金表の見方などを学んだ。

川柳

今月の入選作品・課題「並ぶ」「雑詠」

並行の会話の虚し枯葉舞う

黒田和代（吉富町）

柳川に住んでいることから他県を含め遠方の友人から「うなぎ飯」のうまい店をたまに尋ねられる。その時決まって答える。「誰と食うかだ」。会話が弾めばなんでもうまい。当然その反対も。「虚しい会話」と「枯葉舞う」の取り合わせが絶妙。

生きてきた十指が少しずつ汚れ　古賀幸子（横山町）
無人駅柿の実だけがたれ下がり　樽見一枝（蒲生）
並べたる愚痴片づけて秋刀魚焼く　梅崎三和子（田脇）
平和無視核とミサイル並ぶ国　古賀麗子（吉原）
卒業に並んで撮った詩碑の前　宮崎　武（弥四郎町）
独り居の暮らし人並み葱植える　森フチエ（弥四郎町）
清貧に生きてつましく一人膳　大橋ミヨ子（六合）
黙然とホームに並ぶ人の列　野片義博（新船津町）
ライバルがずらりと並ぶ入社式　小柳エツ子（中島）
とりあえず並んでみよう趣味もなし　坂井幸利（中島）
記念樹もむかし話を並べてる　佐藤良子（蒲生）
十五夜を静かに仰ぐ二人づれ　山田美代子（下宮永町）
電線に並ぶカラスよ何語る　荒巻ミエノ（南浜武）
核兵器並べ自分の平和地図　江口和子（今古賀）
核保有ミサイル並ぶ北の国　内村美子（七ツ家）
痩身の父走りたる農繁期　古賀治美（南浜武）
海山の豊穣祝う幟旗　津留和巳（六合）
歴史あるお寺が並んだ柳川市　西田小校（柳河小６年）
彼岸花きれいに咲いてむかえるよ　内川莉那（柳河小６年）
一列にみんなの心が並びました　溝上晴奈（柳河小６年）

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。11月の課題は**「眠る」「雑詠」**。入選作品は11月1日号に掲載します。

●応募方法　川柳と明記し、自作、未発表の作品（**※1人3句以内**）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX 74・5520）へ、**11月15日（必着）**までにお送りください。

人眠るみんな卵のかたちして　流青